

松浦産業 善通寺市のこども食堂支援 新開発「取っ手付きうどん鉢」寄贈

7月21日（金） 善通寺市役所で寄贈式

紙袋・ケースなどの取っ手や包装資材の製造・販売を手掛ける松浦産業株式会社（本社：香川県善通寺市、代表取締役社長：松浦公之）は、善通寺市内での子どもの居場所づくり事業への支援活動を行います。まずは孤食の解消や食育の推進、食事提供を行っている地域交流の場「こども食堂」へのサポートとして、人間工学に基づきデザインした新開発の「取っ手付きうどん鉢」を80個寄贈。7月21日（金）午前10時半から善通寺市役所市長室で寄贈式を行います。



■取り組みの経緯

松浦産業は善通寺市で産声を上げ、今年で91周年。創業当時から同市から土地を借り受けて授産施設を運営するなど、地域とともに歩んで参りました。現在も「私たちは、幸せを運んでいる。」のビジョンの下、業種の枠を超えた地域貢献活動に取り組んでいます。2021年には新型コロナウイルス感染症の拡大を食い止めるため、トイレのふた裏に貼る消臭・抗菌・抗ウイルスシートを活用する事業をスタート。今回の取り組みは、弊社の技術を活用し、これからの地域を担う子どもたちの成長を支えるため実施いたします。

■取っ手付きうどん鉢とは

プラスチック製品の成形事業に取り組む企業として地元香川のうどん文化を応援するとともに、高齢者やハンディがある人、子どもたちをサポートするため、「軽くて持ちやすい」「食べやすい」「運びやすい」うどん容器の実現に向け、2021年春から開発に着手しました。数多くのトヨタ車のデザインを手掛けたプロダクトデザイナーの松熊伸幸氏に依頼し、人間工学に基づいて設計・製作。『「とって」屋さんが作った「とって」おきのうどん鉢』の商品名で7月2日から応援購入サービス「Makuake（マクアケ）」で販売し、開始1週間で購入総額が300万円を上回りました。

■取っ手付きうどん鉢の概要

- ・商品名：「とって」屋さんが作った「とって」おきのうどん鉢
- ・カラー：全8色

【ベーシック】

チャコールグレー、アイボリー、オフホワイト、ベビーブルー、

【カラフル】

ネギグリーン、釜たまイエロー、おいりピンク、本鷹レッド

- ・仕様：縦175mm×横160mm×高さ71mm（容器部分のみ）
縦220mm×横160mm×高さ80.5mm（取っ手含む）
- ・容量：約1,000ml
- ・材質：プラスチック（PBT樹脂）
- ・重さ：123g

本デザインは特許庁に出願手続き、審査を経て、意匠登録をしております。

（登録番号：意匠登録第1717149号、登録日：2022年6月3日 / 別途：意匠1件・特許2件出願中）

◆会社概要

会社名： 松浦産業株式会社

本社所在地： 香川県善通寺市上吉田町270-1

資本金： 8,000万円

従業員数： 45名（2022年4月現在）

事業内容： PP・PE延伸テープ及びロープ、紙袋用把手、タックハンドル、SP（販促商品）、成型品

ホームページ： <https://matsuura-sangyo.co.jp>

1932年にわら縄ロープ生産で創業し、66年にPP・PE延伸ロープ生産でプラスチック業界に進出しました。「私たちは、幸せを運んでいる。」をビジョンに掲げ、紙袋用取っ手の国内トップシェアメーカーとして、食品・アパレル・小売など様々な業界の紙袋の取っ手やタックハンドル（ダンボールなどに直接貼るシールタイプの取っ手）を生産しています。また、プラスチックの成型技術を生かして、大型テーマパークのプラスチック容器や企業の販促商品なども生産しています。

本県に関するお問い合わせ先

松浦産業株式会社

担当：田岡（080-2852-8617）

TEL：0877-62-2555 E-mail:m2555@orange.ocn.ne.jp